

『人生のキャッシュフロー』を破綻させないため、一般的に給料がピークアウトする『55歳以降のキャッシュフロー』を40代のうちから考えておきます

70歳でリタイアすると、生きている間に訪れる「収入ダウンの崖」は4つ。

①	55歳 = 役職定年 / 役割交代の「崖」	➔ 収入は、2~3割減に
②	60歳 = 定年後再雇用の「崖」	➔ 収入は、更に5割以下に
③	70歳 = リタイア / 社会から退場の「崖」	➔ 再雇用打ち切りで収入ゼロに
④	? 歳 = 配偶者死亡の「崖」	➔ 配偶者の年金受給分がゼロに

押さえておくべき大切なことは、次の二つ。

一	収入に関しては、「70歳でリタイアすると考えていたら、「年金受給開始75歳までの期間」 (=5年間) が、“無収入” になってしまう」ということ
二	支出に関しては、「40代のうちから、健康寿命を伸ばしていく算段をしておかないと、70代後半から急増する“見えざる支出” (=医療・介護費) が待ち構えている」ということ。それに加えて、自分自身や / パートナーの医療・介護費が発生するよりも前に、「両親の介護を担うケース」 (=自分か / 相方が介護離職になるリスク) もある

➔ そして『人生のキャッシュフロー』を確かなものとするために、重要となってくるのが、《最強の経済戦略》を学び、これを実践していくことである